

小学生の部

一つの命、家族の気持ち

米子市立尚徳小学校 3年生 来海 つぐみ

わたしは、今年の五月、自転車教室をしました。わたしは、この自転車教室をとても楽しみにしていました。なぜなら、おにいちゃんといっしょに、青木橋をこえないで出かけることができるからです。自転車教室で言われて、とくに気をつけたいし、おにいちゃんにも守ってもらいたいことが三つあります。

一つ目は、ヘルメットをちゃんと用することです。急な下り坂でころんだりしたら、大けがをして、入いんなどをしなくてはいけなくなるからです。だから、お母さんたちが、自転車を使うとき、いつも、「ヘルメットはかぶった?」と聞いてきます。自転車教室で、ヘルメットをかぶらないと大けがにつながるということを習って、お母さんたちが言っている理由はこれかとつながりました。だから、ヘルメットをちゃんと用することをわすれずにいたいです。

二つ目は、くらやみや夜に、ライトをつけることです。もしも、車がスピードを出して自転車がライトをつけていなかったら、車の方が気づかず、ぶつかってしまうことがあるからです。自転車教室で、車と、自転車に人のにんぎょうがのった物がしようとするというビデオを見て、体のところどころが、かべなどにぶつかっていて、大けがをしてしまうんだなとこわくなりました。だから、くらやみや夜に、ライトをつけることをおぼえておきたいです。

三つ目は、道の曲がるところで、左右をかくにんすることです。前から、左右をかくにんしないとあぶないということは知っていたけれど、自転車教室で、自転車が角でしようとつするかくりつや、しようとつして大けがをしてしまうかくりつなどを教えてもらいました。その数字を聞いて、不安になったので、より意しきして気をつけたいと思いました。

わたしはこれらの理由から、全て大けがにつながるので、自転車で出かけるときに、今まで以上に気をつけたいし、おにいちゃんにも気をつけてもらいたいと思いました。また、これらを気をつけたい理由は、もう一つあります。それは、家族を心配させたくないからです。家族のみんなは、自転車教室のときも、「けがしないでね。」と言ってくれました。わたしの命は、一つしかないし、わたしの命は家族がくれた、大事なものだから、もしも、交つうじこなどで、死んでしまったら、わたしもかなしい、しりあいや友だちもかなしい、でも、なにより、家族が一番かなしいと思います。それは、おにいちゃんが死んでしまっても、同じです。おにいちゃんはよく、友だちと遊ぶときに、よく自転車でどこかへいきます。だから、おにいちゃんにも、自転車のきまりを守って、安全に楽しく使いたいです。